

鼓童

2023

Spring

vol. 390

KODŌ

自然の声は知らず知らずのうちに私たちの体内にしみ込み、
創造の原点となっていました。

(河内敏夫 鼓童村構想より)





僕たちが太鼓を叩く意味

佐渡という都会から遠く離れた地に自分たちで進んで渡ってきた若者たちが太鼓を叩いて世界を巡る。舞台演出を務める池永は、その根源をテーマに置いた。

「太鼓を叩く意味や本質は、好きや楽しい、自分がワクワクするなど原始的なルーツがあります。でも、鼓童で太鼓を叩く意味

を考えたい時、ただただ自分を勝手に太鼓は必要ありません。鼓童で大きな音楽の力を信じている人々が田舎から都会へ殴り込みに行く様な、ある意味時代と逆行しているアンチテーゼから生まれてくるエネルギーが人々を感動させるんじゃないかと思いました」(池永)

池永が考える鼓童の「美德」は、大きな壁を少しずつ掘り進んでいく様な馬鹿正直で地道な愚直さだという。目まぐるしく変わる世界の中で時に悩み、苦しみ、一つの体験を経験として受け止めながら抗うように、鼓童で太鼓を叩いていく。それは何故か。自分たちに「私たちは、太鼓とともに世界をめぐる、多様な文化や生き方が響き合う『ひとつの地球』を目指します。」という鼓童の理念が根付いているからだ。しかし現在、コロナ禍を経て劇場体験にも変化が起きている。その渦中、池永は鼓童の持つメッセージ性の核の部分が薄れていっ

いのちもやして

～何故僕たちは太鼓を叩くのか～

2023年6月22日の浅草特別公演を皮切りに、日本ツアーで公演が始まる『いのちもやして』。池永レオ遼太郎が演出するこの舞台では、米山水木が鼓童として初めて女性の大太鼓奏者を担う。鼓童の新しい「一歩」となる舞台ではどんな音が聴けるのか。

て欲しくない、失ってはいけないと強く感じていた。

そんな折、太鼓打ちでいる意味を感じられた瞬間があった。2022年、ヨーロッパツアー中に戦争が起こり、滞在先のエストニアで難民となったウクライナの人々の前で演奏した時だ。

「演奏前は『戦争の前では音楽は無力だ』と感じたし、不安な気持ち膨らみました。でもその時『演奏することで誰かを元気にしたい』という気持ちも自分の中にありました。それに気づいたとき、自分が悩んでいることが少し救われるような気もしたんです。大義を見失ってないな、と」(池永)





戦争を受け、避難するウクライナの方々に向けたコンサート(2022年3月29日、エストニア)

女性初の太太鼓

演奏後は歓声の中で伝わってくるものがあり、「元気が出た」と想像よりもたくさん声をかけてもらった。舞台『いのちもやして』でも、誰かの心に火を灯す様な太鼓を体現していきたい、と考えている。

鼓童で初めて女性として太太鼓でソロを打つ米山水木。『いのちもやして』の舞台では、衣装や演出を含め、鼓童として新しい「一歩」が表現される。

「日本では女性の権利が不平等だと感じる場面が多くあります。鬼太鼓座からの歴史において、小島千絵子さんや藤本容子さんたちが舞台で太鼓を打てない時代もあった。僕は曲がったことが嫌いなので、そういう不平等さはどんどんぶち破っていきたくて強く思ってきました。でも今



2018年「巡-MEGURU-」公演にて三宅を打つ米山水木(演目「祭宴」)

回、水木を太太鼓に抜擢したのは、女性だからではなく、単純に水木の太太鼓を見てみたい、水木だからいけると思ったからです(池永)

舞台演出では、演者一人ひとり命を燃やすシーンを盛り込みながら、鼓童で太鼓を叩く1人の女性としての様々な葛藤も表現される。米山が太太鼓を打つ必然性を持たせながらも、クライマックスではそれらが削ぎ落とされ、ピュアな1人の人間が神のいけにえとして捧げられるかのように太太鼓に向き合っていくという。

太太鼓を務める米山は、2018年住吉佑太演出の『巡』でも、女性で初めて「三宅」を打った。ただ、太太鼓の話をもたらした時は「ちょっとレベルが違うな」とおののいたという。太太鼓は、鼓童では鬼太鼓座の時代からずっと男性が締め込みでクライマックスに叩いてきた演目。鼓童でも藤本吉利をはじめ、齊藤栄一、見留知弘、石塚充、中込健太という錚々たるメンバーが体力と精神力をもって演奏してきた。

「太太鼓打ちには、生き方を含めた、人としてのオーラを背中で語ります。技術はもちろんです、10分以上を1人で打ち切る体力、体作りが必要です。パワーは男性には負けてしまふ部分があると思いますが、同じ時間、私だから打てる女性らしい良さを見せていきたい。新たな鼓童の一步を、背中で、後輩やお客様含めたみんなに見せたいと思っています」(米山)

浅草では毎年、鼓童のフラッグを掲げていただいている



浅草特別公演から日本各地へ

『いのちもやして』は、池永や米山にとって「おかえり」と声をかけてもらうこともある東京の浅草から始まる。

「浅草は由緒正しいものから新旧様々なものが混在し、それらの化学反応を楽しみながら深めることのできる面白い街です。そこに飛び込んで、浅草の方々の心の深さを感じたいと思います」(池永)

「男性が締め込みで太鼓を叩いてきた歴史を背負って、今回は自分が叩きます。私はすごく太鼓が好きです。私の太鼓やパフォーマンスを見て、各地のお客様に『元気になった』とか『明日から仕事頑張ろう』という思いがうまれてくれたらいい。自分の人生は自分のものです。『自分はこういう風に生きていく』というのを表現するのが私の太鼓の音。それでお客様に力を届けられたらいいなと思っています」(米山)

池永からの米山の太鼓への信頼から実現する、鼓童の新しい「一歩」。鼓童が魅せる命の灯の音を目で、耳で、現地で感じてほしい。

浅草公演から始まる 「次の一步」

船橋 裕一郎

近年は段々と自然な形で舞台のどのポジションでも女性をキャストイングできるようになってきました。そして今回、鼓童で女性が初めて大太鼓を打ちます。鼓童で大太鼓といえば最後のクライマックス。プレッシャーや、お客さんの驚き、期待もあると思います。でも、そこまで背負うのではなく、自然体で打って欲しい。彼女が今までやってきたことをそのまま出していけば十分に面白いものになるはず。

舞台のスタートする浅草の皆様は芸事に対していい意味で厳しい面もあり、幕が開いた瞬間は常に、嬉しさと同時に緊張を覚えます。でも、舞台を一生懸命やればやるだけ、地元の方が応援、応援してくれる非常にあたたかい場所です。これまで地元の方々と鼓童が、一步一步関係を築き上げてきたことで、鼓童の演奏者だけじゃなくてグループが一体となって、毎年浅草に挑むことができます。この鼓童としても大きな「次の一步」となる舞台を見ながら「その先の、鼓童」を考えたいです。

鼓童

『いのちもやして』

今回の公演タイトル『いのちもやして』は、照明家の故・原田進平さんからいただいた言葉「いのちもやして、たたけよ。」から演出の池永がインスピレーションを受けたものです。

いよいよ6月浅草を皮切りにツアーが始まります。

(詳しい公演スケジュールはP11をご覧ください)



2019年浅草特別公演「粋」では浅草の皆様とともに舞台上で神輿を担がせていただいた

浅草と鼓童の出会い。そしてこれから

浅草観光連盟 会長 富士 滋美様

浅草の日常は、普通の日常じゃありません。宮本卯之助商店や岡田屋布施のような太鼓やお神輿も手掛けるような他の町にはめったにないお店が浅草には2軒もあります。三社祭ではお囃子の太鼓を鳴らし放題、観音裏に行くとお座敷で毎晩太鼓を叩き芸者衆が踊りを舞う。何よりも浅草寺では毎朝太鼓の音でお経が始まって、神社でも太鼓を叩いてるから近所の人は太鼓の音と弁天山の鐘の音で起きるくらい。太鼓は日常生活の中にいつもあるものなんです。だから浅草の人は太鼓に親近感が

あり「太鼓のことはわかってるよ」ってな感じがあったと思います。

鼓童が来る時も「太鼓は浅草に合うね」というのが最初の印象でした。でも、聞いてみたらとんでもない。それどころじゃなかった。初めて聞いた時、盛り上がったところで「これだ」と思って拍手したら「まだそれじゃないんだ、もっと先があるんだ!」って太鼓で魅せてもらった。「いや、これすげえな」って驚きがありましたね。この町に似合う楽器、音のさらにレベルの高いものがこの地で奏でられる。「こんな嬉しいことがあるじゃないか」っていうのはみんなの感想だったと思います。

浅草の自慢できる場所は、突き詰めると「人」です。ここでは、小さいときから感性に訴えかけられるものに触られる。そのはじめの一步のひとつに太鼓がある。舞台や交流学校公演で何かを感じた子たちが大人になり、親になり、繋がっていく。同じように、鼓童さんとも舞台を通じて、刺激を受け合いながら良くなって、お互いに高めあえるような関係がずっと繋がり、続いていったら嬉しいなと思います。



浅草公演開始当初より、温かな眼差しで鼓童を声援いただいている浅草観光連盟の富士滋美会長

知っとなるか～

佐渡 ええとこ

佐渡の魅力を身近に感じていただきたいコーナー！
鼓童メンバーやスタッフが撮影した
佐渡のええとこ(良いところ)をご紹介します！

今回の
ええとこは
ココ！



1 佐渡の夕焼け(樺尾)

撮影者 詫間 俊

佐渡の海に沈む夕日を眺めながら、自分の未来を想像したり、昔を懐かしんだり、何も考えなかったり、コンビニのコーヒーを飲んだりするのが好きです。

2 若あゆ自転車道(羽茂)

撮影者 住吉 佑太

サイクリングはもちろん、散歩やジョギングにもオススメ！桜の季節は、本当に気持ちよい風が吹き抜けます。



3 ふきのとう(鼓童村)

撮影者 小平 一誠

鼓童村の道を散歩しているときに見つけました。まだまだ気温は寒くても、春が来ているんだなと思わせてくれます。豪雪や落ち葉を押し除ける姿に、生命の力強さを感じます。

作:宮崎正美



たたこ館での出来事やイベント情報などをお届けします！
今年は3年ぶりに島外でエクサドン講座を実施するなど、再びエクサドンの輪が広がり始めています。改めてエクサドンについてご紹介します。

エクサドンって何？

エクサドンの目標は「孤独をなくす」こと。そのため太鼓を用いて、お互いの気持ちを理解し、共感する体験をします。

エクサドンって何をやっているの？

太鼓を通じて、自分の体や心と向き合い、仲間を増やし、繋がりを作ります。

ご参加いただいた皆様の感想

- 色々な人と出会えた。
- 健康体操と思って、出かけるきっかけになって嬉しい。
- 体が動くようになった。気持ちが明るくなる。



佐渡では、エクサドンをきっかけに太鼓を始めた方が多く、自分たちで太鼓を購入し、活動をしている方々もいます。太鼓をきっかけに仲間ができ、日々の活動に生き甲斐をもつ、そんな元気な高齢者が増えるといいなあ。



エクサドンの
ホームページ

鼓童つれづれ日記

メンバーの感性のままに、今の思いや出来事などを自由に綴るフリーページです。
今号では、『舞台・エヴァンゲリオン ビヨンド』に出演中の山脇千栄の登場です！

こんにちは！

30才になりました！

元気に
はるけん
な～！

2021年
← 家族の
猫の
ハナ子



山脇千栄

chie Yamawaki

1993.2.4 生

香川県三豊市高瀬町出身

女子好きものは器です。
作家さんのものをよく使っています。
イ木田、窓からの自然光に器を照らして
模様やせらつきを自然に目覚め、
こころをこめて、嘘の上で本当の物語を。

神社も好きです！

うどん
↓ 大好きです。



生クリームも
大好きです。

- 太鼓と私の関係 -

▶ 小学2年生の時、お祭りで太鼓を打つ友達を見て無性にやりたくなり、メンバーの間俊のお父さんの紹介で子ども太鼓に入団しました。

▶ 鼓童が大好きで、幼少期の存在。そんな時同郷で先輩のメンバーが鼓童に入団し、私も行ってみたい！と看護学生から心算一転、鼓童石井修所に入所

▶ 現在メンバー6年目、太鼓・唄を中心に活動しています。

↓ 木下 栄



↓ 交流公演 Tシャツ



↑ アー・ロード 2022 表紙



↓ 鼓童 冊子 I



↑ オニオンエアーシール ↓



絵を描くことやデザインが好きで、最近はおとすと色々な挑戦させて頂いております！

佐渡に渡って9年目突入なのに、まだまだ「言葉が通じない私ですが、鼓童に来てくださったの良き方に囲まれ、また、出会いながら楽しく過ごしていることに感謝いたします。どこかでお会いした際はぜひお話ししましょう！ これからもどうぞよろしくお返事を申し上げますー!!

次号つれづれ日記
担当メンバーは…

私にとっては弟のような存在で、いつ何時も全てをロックンロールで生きている。
次、よろしく!!! 笑 (山脇千栄)



次号をお楽しみに!



立体音響作品として全編新作で構成された鼓童の新しい表現方法に挑んだ「ミチカケ」
 昨年11~12月のツアーに続き、今年5~6月、関東中心に上演します。
 印象的な「ミチカケ」の演目について、それぞれに込められた思いを作曲者に語ってもらいました。

構成：編集部 写真：岡本隆史



※モアレ
 規則正しい繰り返しの模様を複数重ね合わせた時に、それらの周期のずれにより視覚的に発生する縞模様。

ミックでありながら、長い周期感を表現するのにも相応しいと感じています。
 (文 住吉佑太)

1 ミチカケ

作曲 住吉佑太

この曲は、この作品のテーマでもある「長い周期感」の表現を目指した曲になっています。

拍子やリズムという短いセンテンスを手放して、響きや音色そのものを抽出するところから始まります。響きの海に漂いながら、音像のうねりを感じてもらえたら嬉しいです。

2 天(てん) Games

作曲 日野浩志郎

どちらの曲も、異なる拍子が同時に進行していく、ポリリズムの作曲技法が使われています。

一つ一つのリズムパターンは繰り返されるのですが、それぞれがモアレ※のように絡み合って、瞬間瞬間に違った音像を生み出します。それはある種、拍子感を感じることを諦めさせることでもあり、それはリズム

3 独奏(ひとり)のみたり

作曲 北林玲央

これまで自分は「奏」という楽器に触れる事が多く、前作の「童」ではソロで演奏する機会を頂きました。

本作品では独奏を元に3人で演奏しています。これまで奏という楽器に触れてきた中で蓄えてきた感覚やリズムを形にした独奏。そしてそれを3人で演奏してみる事によってなんとなくリズムだけではなくハーモニーも感じてもらえるような曲にしたいと思っています。三者の個性と奏から出てくるさまざまな音色をお楽しみ下さい。



4 n

作曲 前田順康

ひとが奏でる音以外にも、ひとが作り上げる音楽以外にも、世界には音が溢れています。

ひとが介在しなくても、音は既にそこにあつて、音があるところに音楽は成立しています。
 今回は「自然界を構成する「数」」をぼんやりとテーマにしました。

自分が何かを作り出すというよりも、身の回りの音やリズムを採集し、組み立てをしたという感覚です。聴き方の選択肢が多い楽曲になるといいなと思いついて、ランダムにも規則的にも捉えることができる構造にしました。「n」は「Number」や「Nature」に由来しています。

5 Lagrange Point

作曲 池永レオ遼太郎



「ミチカケ」の創作開始と同時期、NASAからジェイムス・ウェッブ宇宙望遠鏡の打ち上げが行われていた。遠く離れた佐渡から、私は配信でその快挙を見届けていた。打ち上げは気の遠くなる様な工程数の中のほんの一つで、次の工程はラグランジュポイントを目指すことだった。

6 魚影

作曲 中込健太

大いなる未知を目指して、重力の均衡点(ラグランジュポイント)を探し出していくプロセスは、作曲と似ている。「ミチカケ」に求められる音、自分の作曲、そしてお客様の心。それら全ての一時の均衡点となる曲になれたら本望である。

月の満ち欠けと潮の満ち引きをいちばん感じる、それは魚を釣っているときだった。
 海の中には宇宙にも通じる世界があると思う。

音が物語るミチカケの世界観に、肉体が見えてくるような演目になるようにバチの軌道や、体を使わないと打てないフレーズを散りばめた。次世代のパワーヒッターに捧ぐ。



鼓童ワン・アース・ツアー2023

TSUZUMI

今年の2月から3月にかけて、アメリカ、カナダの24都市、全33回公演を実施しました。

4年ぶりの北米ツアーということもあり、沢山の会場が完売。

各所各地から「待てました」の温かい言葉をいただいたツアーとなりました。

今回は、そんな北米ツアーを支えてくださったスタッフや古くからの友人、

そして故郷への凱旋公演となった小野田太陽からのコメントを紹介します。

テクニカル・ディレクター

古堅オリビエ さん

最初は長い冒険が始まるな—と思ったらいつの間にかあとほんの2週間あるくらい。あっという間。でもその間に無限の世界が色々あって最高に楽しい。

仕事でバンバン忙しいから全てのメンバーとゆっくり話せた訳ではないけど、別の方法でコミュニケーションを取って、一緒に行動していろんな人に出会いいろんな現場を渡り、そしていろんなお客さんに楽しんでもらう。照明だから毎回表から見る事ができて、メンバーはあらゆる状況下でも最高の笑顔あふれる演奏をしてくれて、お客さんの素晴らしい感動が伝わってくる。毎回スタンディングオベーションでこっちが立たないと舞台が見えなくなるこの嬉しさ！そして帰っていくお客さんがホクホクとコメントを分け合う様子は、こっちまでホクホクなる。鼓童、いい仕事をしています！



25年以上鼓童の太鼓を北米各地へ運搬してきたトラックドライバー

Donnie Keeton

『TSUZUMI』からこんにちは！
代表的な演目と新鮮で活気のある演目、両方を取り入れたこの最も強力な作品は、すべて順調に進んでいます。完売した公演も沢山あり、全体的にとっても良いツアーを進められています。

長距離運転にも耐えられるようなビューティフルな天候に恵まれたことに、私は心から感謝しています。また、2025年のツアーで引退をする予定ですので、切なくも楽しみにしています。長い間、太鼓の安全を任されたことを光栄に思います。(訳: 神谷唯)



アメリカの太鼓界のパイオニアであり、鼓童の長きにわたる友人

Roy and PJ Hirabayashi

鼓童が私たちの住むサンノゼの近くに来ると、いつもワクワクします。そして「オカエリナサイ、鼓童!」という気持ちで皆さんと再会しています。

鼓童初のバークレー公演が行われた41年前(1982年)、ロイが皆さんの旅に同行したことを思い出し、とても懐かしい気持ちになりました。今回の「TSUZUMI」は、当時のツアーで行っていた演目を披露し、あの頃と変わらない栄一さんとも再会ができました。そして太鼓、笛、踊り、唄を通して、シリアスであり、瞑想的であり、遊び心があり、喜びがあり、さまざまな感情表現、そして多様な役柄を演じる女性たちの優れたパフォーマンスにも刺激を受けました。今年、私たちはサンノゼで和太鼓を演奏して50年を迎えました。その長い年月を鼓童のような仲間たちと共有できたことに感謝します。(訳: 神谷唯)



前列右から2人目がRoy、3人目がPJ

アメリカ・サンフランシスコ市出身・鼓童メンバー

小野田太陽

4年ぶりの母国。家族や友人、太鼓仲間との再会。今ツアーで新しく出来た様々なご縁。色んな方から溢れんばかりの愛を

いただきました。体力的、精神的に苦しい場面は沢山ありました。ただ、太鼓を叩き続けてたからこそ繋がった人たちが、僕をアメリカから日本へ「頑張れよ」と送り出してくれた人たちにパワーをいただき、それに応えるつもりでやりきりました。改めてこれからもずっと太鼓と、そして自分と向き合い続ける覚悟をしたツアーでした。



北米ツアーに向けた海上輸送費高騰に伴い、実施しました「太鼓ローラソン」のクラウドファンディングにご支援くださいました皆様、誠にありがとうございました。

鼓童オンラインストアより

■春の新商品が続々登場です!



「ミチカケ」公演が、待望のDVD化! 5/20より鼓童オンラインストア、ツアー会場で発売。

DVD 鼓童「ミチカケ」
価格4,500円(税込)



POPなONE EARTH TOURのロゴが胸元に♪私服としても合わせやすいデザインになっております。ツアー会場でも販売します。

鼓童Tシャツ(環-KAN-)
価格3,000円(税込)
サイズ:S~XL



綺麗な空を思わせる、春にぴったりのカラーです。根付として、カバンやポーチなどのアクセントとしていかがでしょうか。

アクリル根付(提灯)
価格500円(税込)



鼓童の人気演目、千里馬が手ぬぐいになりました。
手ぬぐい 千里馬(鉄紺) 価格1,600円(税込)

詳細は鼓童オンラインストアでご確認くださいませ。

■鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで

Tel. 0259-86-3630(販売部) <http://store.kodo.or.jp>



鼓童の会 会員限定プレゼント

今回は「ECタオル」を3名様にプレゼントします。昨年からのロゴが小川温子さんによる文字にリニューアルされました。ぜひこのタオルを持って、ECにご来場ください!



■申込方法/会員ID、お名前、ご住所、電話番号、鼓童やECへのメッセージをお書き添えの上、「ECタオル希望」と明記してお申し込みください。

■締切/5月31日(水)必着 プレゼントは6月中に発送いたします。発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

■宛先/〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童の会プレゼント係

Fax: 0259-86-3631 Email: friends@kodo.or.jp

(メールの件名を「鼓童の会プレゼント申し込み」としてください)

メンバー短信 ●準メンバーの廣寄一馬(ひろさきかずま)が鼓童正メンバーとなりました。また小川蓮菜(おがわはな)は引き続き準メンバーとして正メンバーを目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

●財団スタッフの高津万理が3月をもって退職いたしました。お世話になった皆様へ心より感謝申し上げます。

鼓童提供楽曲第5弾 「青々」公開!



今回の提供楽曲のテーマは唄。

歌詞の変更も自由ですので想像しやすい情景や出来事を思い浮かべ、大きな声で歌ってみてください! 鼓童は声も大切な表現方法の一つとして発声の稽古も日々行なっています。挑戦して下さった皆さんの新しい表現活動のきっかけとなれば幸いです。

鼓童文化財団研修所より

43期(2024年度)研修生募集

応募要項は6月頃に発表する予定です。

夏の体験入所

8月8日(火)~10日(木)の2泊3日で、「夏の体験入所」を実施します。この企画は研修所への応募を考えておられる方、またこの体験入所を通して今後の進路を考えてみようという方が集まり、研修所の日常を体験していただけるものです。感染対策を施した上で実施します。ご参加を心よりお待ちしております。

■募集人員/約15名 ※先着順(定員となり次第受付終了)

■料金/8,000円(税込) ※宿泊費・食費・島内交通費含む
(佐渡までの交通費、事前のPCR検査費用等はご負担ください)

■集合・解散

8/8(火) 両津港集合15:10(12:35新潟発フェリーから連絡)

8/10(木) 両津港解散12:10(12:40両津発フェリーに乗船可能)

■参加資格/高校生以上~2024年4月1日時点で25歳以下の方

■応募方法/「2023年夏の体験入所参加申込みフォーム」からご応募ください。

折り返し、参加の可否をご連絡いたします。

※今後の感染拡大の状況により、実施を見送る場合がございます。あらかじめご了承ください。(7月末頃決定予定です)



《予定する主な内容》

◎研修生の稽古見学(見留知弘指導)、見留知弘による特別ワークショップ、研修生による稽古成果発表、トレーニング・ストレッチの体験など

◎生活(研修所の日常を体験=食事作りと片付け・掃除・農作業など)

◎鼓童村(鼓童の本拠地)、たたこ館など関連施設の見学

<お問合せ>

鼓童文化財団研修所(担当:三浦)

Email: kenshujo@kodo.or.jp



『いのちもやして、たたけよ。』英訳・出版プロジェクトについて

プロ翻訳家で鼓童の翻訳・広報担当のメラニー・テイラーさんによる、2ヶ月間にわたるクラウドファンディングが4月11日に目標額を達成し終了いたしました。「お陰様で鼓童の物語を世界へ共有できるようになりました。ご支援いただいた皆様へ深く感謝申し上げます。」

メラニー・テイラー

最新情報は鼓童サイトをご確認ください。

鼓童公演

鼓童ワン・アース・ツアー2023～ミチカケ

5/20(土) 神奈川県相模原市

相模女子大学グリーンホール 大ホール
14:00開演 5,500円
☎ チケットMOVE
Tel. 042-742-9999 (10:00～19:00)

5/21(日) 神奈川県横須賀市

よこすか芸術劇場 大劇場 14:00開演
S席5,800円、A席4,800円、B席3,800円
学割あり、24歳までの学生は全席半額。
※学割とB席の取り扱いには劇場のみ。
☎ 芸術劇場予約センター Tel. 046-823-9999

5/27(土) 東京都小平市

ルネこだいら(小平市民文化会館) 大ホール
14:00開演 一般5,500円、U-25 3,000円
☎ ルネこだいらチケットカウンター
Tel. 042-346-9000 (9:00～17:00)

5/28(日) 山梨県韮崎市

東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール
16:00開演
一般5,500円、U-25 3,000円
☎ 東京エレクトロン韮崎文化ホール
Tel. 0551-20-1155 (8:30～17:15)

6/3(土) 群馬県館林市

館林市文化会館カピス®ホール
14:00開演
一般5,500円、高校生以下3,000円
☎ 館林市文化会館 Tel. 0276-74-4111
(9:00～17:00)

6/4(日) 新潟県上越市

上越文化会館 大ホール 15:00開演
S席6,000円、A席5,000円
☎ 上越文化会館 Tel. 025-522-8800
TeNYチケット専用ダイヤル
Tel. 025-281-8000 (平日10:00～17:30)

鼓童浅草特別公演2023 「いのちもやして」

6/22(木)-25(日) 東京都台東区

浅草公会堂
22、23、25日 14:00開演
24日 11:00/15:00開演(2回公演)
7,000円
☎ チケットスペース Tel. 03-3234-9999

※「U-25」は鑑賞時に対象年齢(25歳以下)の方がお求めいただけるお席です。

鼓童「いのちもやして」国内ツアー

7/6(木) 福井県越前市

越前市文化センター 18:30開演
一般6,000円、大学生以下3,000円
☎ 越前市文化センター Tel. 0778-23-5057

7/8(土) 岐阜県可児市

可児市文化創造センターala 主劇場
14:00開演
一般6,000円、U-25 3,000円
☎ 可児市文化創造センターala
Tel. 0574-60-3050

7/9(日) 愛知県幸田町

幸田町民会館 さくらホール
17:15開演 S席6,000円、A席5,000円
※年中児のお子様から入場可能(大人小人同一料金)
☎ ももの木保育園 Tel. 0564-62-2390

7/15(土)-16(日) 京都府京都市

京都芸術劇場 春秋座 13:00開演
一般6,500円、学生&ユース3,000円
☎ 京都芸術大学舞台芸術研究センター
Tel. 075-791-9207

7/17(月・祝) 神奈川県平塚市

ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール
17:00開演 一般6,500円、学生3,000円
☎ ひらしん平塚文化芸術ホール
Tel. 0463-79-9907

7/22(土) 埼玉県狭山市

狭山市市民会館 大ホール
14:00開演 一般6,000円、U-25 3,000円
☎ 狭山市市民会館 Tel. 04-2953-9101

7/23(日) 新潟県魚沼市

魚沼市小出郷文化会館 大ホール
16:00開演
S席5,000円、A席4,500円、高校生以下2,000円
(S席A席とも) 当日500円増
☎ 魚沼市小出郷文化会館
Tel. 025-792-8811

10/15(日) 山口県下関市

下関菊川ふれあい会館 アブニール

10/16(月) 福岡県黒崎市

黒崎ひびしんホール 大ホール

10/17(火) 大分県佐伯市

さいき城山桜ホール 大ホール

10/19(木) 大阪府摂津市

摂津市民文化ホール(くすのきホール)

10/22(日) 新潟県新潟市

新潟県民会館 大ホール

鼓童ワン・アース・ツアー2023～翔走

11/23(木・祝) 新潟県佐渡市

アミューズメント佐渡 大ホール

11/26(日) 大阪府大阪市

大阪松竹座

11/29(水) 広島県広島市

上野学園ホール

12/2(土) 京都府綾部市

京都府中丹文化会館

12/3(日) 兵庫県神戸市

神戸国際会館 こくさいホール

12/6(水) 愛知県名古屋市

日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

12/9(土) 宮城県石巻市

マルホンまきあーとテラス 大ホール

12/10(日) 岩手県一関市

一関文化センター 大ホール

12/13(水) 栃木県宇都宮市

栃木県総合文化センター 大ホール

12/16(土) 埼玉県所沢市

所沢市民文化センター ミューズ マーキーホール

12/17(日) 埼玉県熊谷市

熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール

12/20(水)-24(日) 東京都文京区 **先**

文京シビックホール 大ホール
20日 19:00開演
21、22、23、24日 14:00開演
一般 7,500円、U-25 3,000円
9/10(日) チケット発売予定
☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

初音ミク×鼓童スペシャルライブ2023 ～結～

6/3(土)-4(日) 東京都渋谷区

NHKホール
3日 13:00/19:00開演(2回公演)
4日 13:00開演
SS席9,500円、S席8,500円、A席7,500円
☎ ハローダイヤル Tel. 050-5541-8600
(9:00～20:00無休)
miku-kodo2023@nhk-p.co.jp

料金はすべて税込、特に表示のないものは全席指定席、未就学児の入場は不可。発売表記のないものは発売中です。
鼓童サイトの公演スケジュールページと各公演会場の情報サイトがリンクしています。

オーバード・ホール／中ホール 柿落とし公演
富山特別企画
坂東玉三郎×鼓童『アマテラス幻想』

7/1(土)富山県富山市

富山オーバード・ホール 14:30開演(予定)

オーバード・ホール／大ホールで
生中継パブリックビューイング実施

【どなたでも応募可◎】1,000名様無料招待!

オーバード・ホール 大ホール

対象:小学生以上(未就学児不可)

募集人数:先着1,000名程度

申込開始:6/3(土)10:00～

※定員に達し次第終了

チケット申込:入場にはチケットが必要です。

アスネットオンラインチケット

アスネットカウンター(オーバード・ホール1階)

Tel. 076-445-5511 営業時間/10:00～18:00

定休日/月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)

※アスネットオンラインのご利用には無料の会員登録が必要です。

※チケットは一度に4枚までお申込みできます。

☎(公財)富山市民文化事業団

Tel. 076-445-5610(平日8:30～17:15)

アース・セレブレーション2023

8/18(金)-20(日)新潟県佐渡市

詳細は、同封のプログラムをご確認ください。

6/15(木)チケット発売

先

小編成公演・ゲスト出演

三宅島芸能同志会

(津村和宏・津村秀紀・津村春快)

×中込健太・住吉佑太(鼓童)

5/24(水)東京都稲城市

稲城市立iプラザ 19:30開演

大人4,500円、学生(高校生以下)2,500円

☎イープラス <http://eplus.jp/>

藤本吉利・藤本容子出演
二人行脚

6/4(日)埼玉県川越市

和太鼓響20周年記念公演ゲスト出演

ウェスタ川越大ホール 13:00開演

一般2,000円、中学生以下・65歳以上1,800円
全席自由

☎和太鼓響事務局 Tel. 080-4585-0822

鼓童交流公演

6/18(日)岩手県奥州市

前沢ふれあいセンター 14:00開演

一般2,500円

☎前沢ふれあいセンター Tel. 0197-56-7100

9/9(土)東京都文京区

文京シビックに鼓童がやってくる!

ぶんきょう交流公演

文京シビックホール 小ホール 14:00開演

一般3,000円 6/10(日)チケット発売

※5歳から入場可。小学3年生までは保護者の同伴が必要です。

☎シビックチケット Tel. 03-5803-1111

9/23(土・祝)新潟県胎内市

胎内市産業文化会館 13:30開演

一般2,000円、中学生以下500円

当日各500円増 全席自由

7/11(火)チケット発売

☎胎内市産業文化会館 Tel. 0254-43-6400

9/24(日)新潟県湯沢町

湯沢町公民館 14:00開演

一般2,000円、中学生以下500円

当日各500円増 全席自由

7/24(月)チケット発売

☎湯沢町公民館 Tel. 025-784-2460

結成50周年記念公演

愛宕山権現太鼓～未来へ

7/12(水)三重県松阪市

農業屋コミュニティ文化センター

(旧松阪コミュニティ文化センター)

19:00開演 一般4,000円

☎権現太鼓50周年実行委員会 マツモト

Tel. 090-6462-4073(月・金、10:00～16:00)

鼓童内子座特別公演

7/15(土)愛媛県喜多郡内子町

内子座 15:00開演

一般4,000円、当日4,500円

5/25(木)チケット発売

☎内子町役場 町並・地域振興課

Tel. 0893-44-2118

長岡市立劇場開場50周年記念

鼓童×長岡のこどもたち! 太鼓でツナガル

鼓童ワン・アース・ミュージック in 長岡

9/3(日)新潟県長岡市

1部は鼓童、2部は長岡市内の子どもの太鼓チームの演奏と鼓童との共演です。

長岡市立劇場 大ホール 14:00開演

S席5,000円、A席3,000円

※ほかU-25料金あり 6/14(水)チケット発売

☎(公財)長岡市芸術文化振興財団

Tel. 0258-29-7715

Noism×鼓童『鬼』

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する「Noism Company Niigata」との共演作品「鬼」の再演が決定しました。

12/15(金)-17(日)新潟県新潟市

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

9/16(土)チケット発売

2024 1/13(土)-14(日)神奈川県横浜市

KAAT神奈川芸術劇場

9/16(土)チケット発売

2024 1/20(土)岡山県岡山市

岡山芸術創造劇場ハレノワ

10/14(土)チケット発売

2024 1/25(木)熊本県熊本市

市民会館シアーズホーム夢ホール

10/29(日)チケット発売

ソロ活動

阿部好江&山脇千栄が参加
THEATER MILANO-Zaこけら落とし公演
COCOON PRODUCTION 2023
『舞台・エヴァンゲリオン ビヨンド』

12ページもご参照ください。東京・長野公演は山脇千栄、大阪公演は阿部好江が出演します。

5/6(土)-28(日)東京都新宿区

THEATER MILANO-Za(東急歌舞伎町タワー6階)

6/3(土)-4(日)長野県松本市

まつもと市民芸術館

6/10(土)-19(月)大阪府大阪市

森ノ宮ピロティホール

藤本容子出演

年を重ねるほど楽しい わくわく魔女の集い

5/20(土)神奈川県横浜市

金沢文庫アサバアートスクエア 13:00開演

3,500円 ランチ希望の場合別途1,500円

※20名限定 (11:00より)

☎エンジェルくみ Tel. 090-7004-6119

Friends of Kids 鼓童の会 チケット
先行予約のご案内

先 印のある公演は先行予約があります。会員の皆様は先行予約申込み用紙を同封しております。お申し込み方法はそちらをご確認ください。

THEATER MILANO-Zaこけら落とし公演
COCOON PRODUCTION 2023

『舞台・エヴァンゲリオン ビヨンド』



阿部好江、
山脇千栄が参加!

これまでに多くの人々を魅了し続けてきた『エヴァンゲリオン』が、構成・演出・振付:シディ・ラルビ・シェルカウイ、主演:窪田正孝による舞台となって、新たなエンタテインメントとして繰り広げられます。

東京公演(「THEATER MILANO-Za」こけら落とし公演)と長野公演には山脇千栄、大阪公演には阿部好江が参加します。舞台を貫くメッセージを歌唱や太鼓で表現します。生で感じる息づかいを劇場で体感してください。

詳細はこちら: Bunkamura 公式サイト

<https://www.bunkamura.co.jp/cocoon/lineup/evangelion2023.html>



今年ついに、満を持して「初音ミク×鼓童スペシャルライブ2023 ~結~」の開催が決定しました。

歌声合成ソフトの枠組みを超えて世界を魅了し続けるバーチャル・シンガーの「初音ミク」、日本の芸能文化の先駆けとして世界を駆け巡る太鼓芸能集団「鼓童」。無限の可能性を持つ「初音ミク×鼓童」が、ついにNHKホールのステージに再集結します。あの熱い感動のステージがいまここによみがえります。

アース・セレブレーション2023

2023年8月18日(金)～20日(日)

小木みなと公園での3日間の野外ライブを開催。

南アフリカからThe Voice of South Africaの皆さん、そして蓮沼執太さん、角銅真実さんをお迎えし、心躍るステージをお届けします。

今年はフリンジステージの場所もお引越し、一般募集も再開。

また、南アフリカの文化に触れるワーク・ショップ、青空太鼓体験などを実施。ハーバーマーケットや、小木商店街にも素敵なお店が立ち並びます。

見る・聴く・食べる・踊る・たたく!

おもいきり五感を震わす夏。夏の光あふれる佐渡で、皆さまのお越しをお待ちしています。

詳細は同封のプログラムをご覧ください。



最新情報は、[ウェブサイト](#) [facebook](#) [Twitter](#) [メルマガ](#) をご覧ください。

鼓童

検索

<https://www.kodo.or.jp>

[@KodoHeartbeatJp](#)

[@KodoHeartbeat](#)

[@kodoheartbeat](#)

[@kodoheartbeat](#)

[@kodoheartbeat](#)

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ **Tel. 0259-86-3630**(代)(月～金 9:30～17:00) **Fax: 0259-86-3631** 次号は2023年8月10日の発行を予定しています。

KODO vol. 390

鼓童 2023年5月10日発行(年4回 2月/5月/8月/11月) ©発行/鼓童 〒952-0611新潟県佐渡市小木金田新田148-1
Tel. 0259-86-3630 Fax: 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp <https://www.kodo.or.jp>
©発行責任者/五十嵐実 ©企画・構成/(公財)鼓童文化財団 ©デザイン・編集・印刷/(株)第一印刷所
©郵便振替/00690-9-258298(公財)鼓童文化財団 年間購読料3,000円(送料/購読料は会費に含まれます)